

令和3年度 第1回・第2回 市政モニタ一会議報告書



ワクリエ新居浜（新居浜市生涯活躍のまち拠点施設）

新居浜市 企画部 秘書広報課

令和3年12月

(事業の目的)

新居浜市では、市政に関する市民の皆さんの意見をお聴きし、市政運営の参考とするために、市政モニター制度を設けています。

今回の市政モニター会議は、参加希望いただきました市政モニターの皆さんに、市の施設見学や職員からの説明を通して市政への関心を高めていただくことを目的に実施しました。

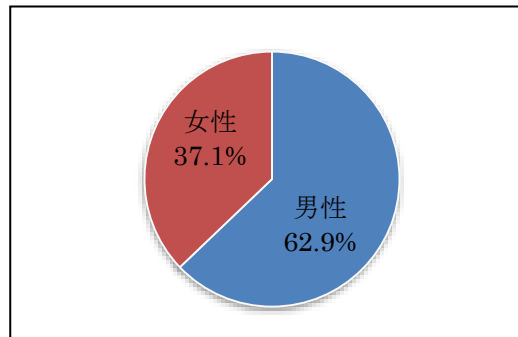
(日 程)

第1回会議	令和3年11月11日(木)	10:00～12:00
第2回会議	令和3年11月13日(土)	10:00～12:00

(参加者の状況)

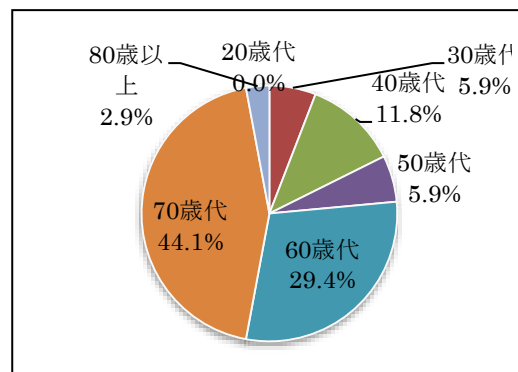
<性別>

	人数	割合
男性	22人	62.9%
女性	13人	37.1%
合計	35人	100.0%



<年代別>

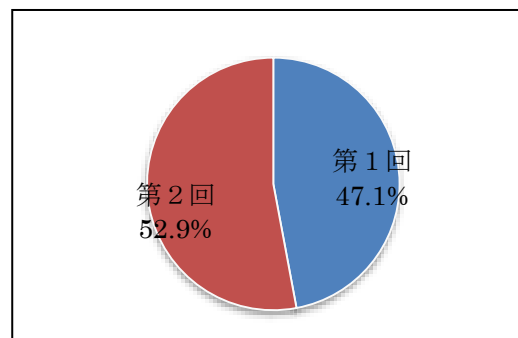
	人数	割合
20歳代	0人	0.0%
30歳代	2人	5.9%
40歳代	3人	11.8%
50歳代	5人	5.9%
60歳代	8人	29.4%
70歳代	15人	44.1%
80歳以上	2人	2.9%
合計	35人	100.0%



※年齢は令和3年4月1日時点

<参加日別>

	人数	割合
第1回	18人	47.1%
第2回	17人	52.9%
合計	35人	100.0%



※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

(見学先及び内容) ワクリエ新居浜 (新居浜市生涯活躍のまち拠点施設)

令和3年度施設見学会では、平成30年3月に閉校となった若宮小学校をリノベーションし、新しい産業や人材交流を創出する活動の拠点、また市民の生涯活躍に繋がる多様な活動の情報発信拠点として整備された「ワクリエ新居浜」にて、施設見学と担当課である地方創生推進課の取り組みについて学習を行いました。

(1) 地方創生推進課より説明

①新居浜市の人口動態について

❖新居浜市人口ビジョン

国の長期ビジョン(2014年「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」)策定を踏まえ、新居浜市における人口動態の分析を行い、人口減少問題の克服に向け策定した計画

❖社人研(国立社会保障・人口問題研究所)による市の将来推計人口:2060年に74,997人まで減少 新居浜市人口ビジョンの目標値:2060年に人口90,000人を維持

❖R2(2020年)の数値

人口ビジョン目標値:115,545人に対し、国勢調査(速報値):116,005人で、現時点では人口ビジョンで設定した目標値をクリアしている。しかし、社人研は2018年数値を上方修正しており(2060年に86,326人まで減少)、更新数値(R2:117,372人)と比較すると目標値をクリアできていない。

❖県内各市の直近20年人口推移 増減率 松山市(100.6%) 新居浜市(92.2%)

人口が増えているのは松山市のみ。減少率は、南予(約25%減)・東予・中予の順に高い。
→人口の維持には、生活の基盤となる産業・雇用の安定が不可欠

❖市の過去20年間の自然増減・社会増減の推移

自然増減(出生数と死亡数):H13を最後に死亡数>出生数となり、その差も年々増加
社会増減(転入出):転出超過が続いている。特に、20~35歳までの人口減少が著しい。

❖新居浜市の取り組み

人口ビジョンの目標を達成するために、新居浜市総合戦略を策定。Uターン、Iターン就職を促す転入者向け支援策や新たな産業の創出、子育てしやすい職場環境の構築、転出者抑制に繋がる都市基盤の整備、子育て支援等に取り組み、市民が「住み続けたい」と感じるまちを目指す。

②RCC新居浜アクションプランについて

❖RCC新居浜とは

基本理念:~あかがねライフ 人生100年時代へのチャレンジ~

まち・ひと・しごとを再創造(リ・クリエイト)するまちづくり

❖「3つのC(※)」に重点を置いた施策を展開

(※)City(まち)・Challenger(ひと)・Career(しごと)

人生100年時代を近い将来の現実のものと捉え、生涯活躍し続けることができる持続可能な新たなコミュニティの再創造を目指す。

❖具体的なアクション

- ・空き家等活用型移住支援プラン(空き家バンク制度の充実、移住者の空き家活用支援、旧国家公務員住宅改修によるお試し移住用住宅等を含めた移住支援用住宅としての活用)
- ・ものづくり・学びの拠点整備プラン(生涯活躍のまち拠点施設(ワクリエ新居浜)の整備)
- ・人生100年わくわく支援プラン(わくわく4要素を満たすソフト事業の展開(専門的な教育プログラムの提供、起業・創業支援、新しい分野の産業創出の支援、各種イベントの開催等))

③新居浜市の移住施策について

- ❖新居浜市の移住者数 R1年度：49名、R2年度116名（※転入者アンケート回答による）
- ❖本市のターゲット層：働き手世帯、子育て世帯、地元を離れている若者（Uターン転入者）
- ❖認知拡大への取組：移住相談窓口の設置、移住フェアへの積極的参加、移住促進PR動画作成
相談窓口での移住相談件数 R1年度：117件（フェア84件・電話メール等33件）
R2年度：69件（フェア6件・電話メール等63件）
- ❖現地での生活体験：お試し移住用住宅の提供（1,000円/日）、移住支援住宅の貸付け（最長3年）
お試し移住用住宅利用者数 R1年度：20世帯37名 →その後移住者：4世帯5名
R2年度：14世帯20名 →その後移住者：8世帯10名
- ❖Uターン支援施策：ふるさと定期便事業（現在61名の登録者）、奨学金返済支援事業
- ❖定住促進策：転入者ウェルカムツアー、移住定住応援事業（R2.10月～）
- ❖今後の課題：オンライン体制の強化、20代・30代との継続した関係づくりの構築、地域住民、先輩移住者と交流できる機会の創出、移住×就労（テレワーク）×住環境

④移住に関するPR動画視聴

<https://www.youtube.com/watch?v=uKJ1gMtGjR8>



移住PR動画

(2) 施設概要説明

令和3年6月にオープンした「ワクリエ新居浜（生涯活躍のまち拠点施設）」について、担当課である地方創生推進課より施設の概要説明を受けた後、施設のPR動画を視聴しました。

【施設概要】

- ❖全体コンセプト：感性をはぐくみ「わくわく」を創造する
レンタルオフィスやコワーキングルームの設置による起業支援や新たな産業振興を図るほか、木育の推進や様々な資格、文化関連の講座開催など生涯活躍を目指す市民の活動拠点となる多目的複合施設
- ❖施設整備内容
全体：エレベーター・渡り廊下・南棟へのウッドデッキ新設、トイレの洋式化、多目的トイレ設置、各室への空調設備の設置等
北棟：若宮小アーカイブ、クッキングスタジオ、多目的室
南棟：木育推進拠点施設（1階）、リカレントルーム・コワーキングルーム・ものづくり工房・コミュニティサロン（2階）、レンタルオフィス5室・音楽スタジオ（3階）
- ❖休館日：原則として月曜日
- ❖施設運営：指定管理者制度を導入（施設管理運営者（株）ハートネットワーク）
- ❖現在の施設利用状況：約5,600人/月（当初予想約4,100人/月を上回る）

(3) 施設見学

ワクリエ新居浜(生涯活躍のまち拠点施設)内の各施設を見学、担当職員の説明を受けました。



地域交流スタジオ



コワーキングルーム



若宮小アーカイブ



わくわく広場(中庭)



南棟階段



コミュニティサロン

(4) 質疑応答

今回の施設見学の内容全般に関する質疑応答を行いました。

※いただいた質問・意見の一部(内容は要約しています)

質 問	回 答
ワクリエ新居浜の屋根には、太陽光パネルが一部設置されているようだが、屋根は広いのでもっと規模を拡大し、蓄電池も置いて災害時用に有効活用してはどうか。ま	<p>屋上の太陽光パネルについては、現在全体の6分の1程度のスペースに設置していますが、今後、脱炭素化への取組推進と、ご指摘もあつた災害対策としての目的から、今年度中に規模を拡大する予定で、現在近隣の学校等とも連携しながら進めているところです。</p> <p>また、プールにつきましても、既に新居浜市消防の方で自然災害と火災時の対応用の防火水槽として位置付けられております。さら</p>

<p>たプールについても、現在使用されていないのであれば、非常時用の貯水施設として活用してはどうか。全体として災害対応に非常に向いている施設だと感じたので、その点について現在の状況や今後の計画を聞きたい。</p>	<p>に、ワクリエ新居浜ではグラウンド内にローカル 5 G のアンテナ基地局を整備しており、今後、IoT を活用した様々な実証実験の実施を計画しています。その一環として、プールを活用したスマート養殖（IoT を活用した魚の匹数管理や水温・水質管理等）の実証実験を近く開始する予定としています。</p> <p>ご指摘のとおり、このワクリエ新居浜は、小学校だった時代から継続して緊急避難所として指定されており、災害に強い施設という特徴を持っていると言えます。引き続き、非常時や台風等の災害時は地域の避難場所として活用できるように運営してまいりたいと考えています。（地方創生推進課）</p>
<p>「若者を取り込むためには、新しい産業が必要」との説明があったが、IT 産業やデジタル分野など、具体的にどのような業種の産業を新たに興し、力を入れていくのか教えてほしい。</p> <p>新居浜市は最近、(株)ソフトバンクと多方面で事業連携しているイメージがある。そのような民間企業や学生などの若者のアイディア等を積極的に取り込んで、新しいことにチャレンジしてほしい。</p>	<p>現在、新居浜市経済部の方で ICT 企業誘致事業に取り組んでおり、その受入れ先として、このワクリエ新居浜でもコワーキングスペースやレンタルオフィスのスペースを設けたり、サテライトオフィス等を整備するための補助を実施する等、新しい事業や働き方の実現を支援する取組みを市として実施しているところです。しかし、具体的にどの産業分野に力を入れていくか、という点については、まだ取り組みが始まったばかりの段階でもあり、そこまで話が進んでいないのが現状です。</p> <p>新居浜市は住友グループを中心とした「ものづくり」産業が地場産業として定着しており、雇用の面において大きなアドバンテージとなっていますが、今後はそれだけではなく、若者が求めるような新たな産業の創出ということについても、これは一朝一夕にできるものではありませんが、民間企業や若い方のアイディアや意見を取り入れながら、今後取り組んでいきたいと考えております。（地方創生推進課）</p>
<p>「子育てしやすいまち」だと聞いて新居浜に移住してきたが、実際には障がいや病気を抱えたお子さんの保育園側の受入体制が整っていない等、福祉環境やサービスの問題から住み続けることができなかつた方もいると聞く。</p> <p>RR 動画では新居浜の良い面ばかりが挙げられていたが、まずは福祉や雇用など様々な面で、本当に住みやすいまちにすることが大切ではないか。また、PR 方法について、良い所ばかりを挙げるのではなく、何か問題が生じた時のサポート体制等について広報すべきではないか。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。ご指摘のとおり、これまでは、新居浜市の「良いところ」の PR だけになっていた側面がありました。今後は、移住後のアフターフォローやサポートに関するということについても PR してまいりたいと思います。現在、移住されてきた方全員を、市の方で把握できている訳ではありませんが、把握できている方や相談のあった方に対しては、不安な事やわからないことがあればお気軽に担当窓口にてご相談くださいとのアナウンスはさせていただいており、実際にご相談に来られた方に対しては、相談内容それぞれの担当部署とも連携してサポートに当たらせていただいている状況ですが、今後についても、更なるフォロー、サポート体制を充実して、実際に新居浜市に来られた方に「新居浜市に来て良かった」と思ってもらえるように努めたいと思います。（地方創生推進課）</p>

<p>ワクリエ新居浜の道路のアクセスが良くない。なんとかならないか。</p>	<p>道路とのアクセスについては、ご指摘のとおり、南側の広い幹線道路から進入するという案も改修の段階からあったのですが、大きな交差点に近いということで、安全性の面で困難であり、現状の公民館と施設の間から進入するというのが、一番安全かつ広い敷地の駐車場が整備できる、ということで現在の状況となっています。アクセスがわかりにくい、という点については、今後、案内看板等をわかりやすく配置できるよう整備してまいりたいと考えております。(地方創生推進課)</p>
<p>移住施策について、20～30代がターゲット層とのことだが、大学を新居浜に誘致するという考えはないか。</p>	<p>大学誘致に関しては、もちろん実現できれば人口減少対策の大きな起爆剤となるということ、様々な会議で意見としていただいております。しかし、市の人口ビジョンや地方創生に係る施策の検証のために開催しております新居浜市地方創生有識者会議においても、残念ながら、民間企業の経営者の方等から「現実的ではない」とのご意見をいただいております。大学の 신설、誘致は非常に条件が厳しく困難という現状ですが、新居浜市には国立の高等専門学校もありますので、こちらとの連携を強化して、新しい地方創生への取り組みに繋げていくことに注力してまいりたいというのが、現在の市の方針と認識しています。(地方創生推進課)</p>
<p>お試し移住用住宅について、戸数が2戸というの少ないと感じるが、空き家の活用等、考えているのか。</p>	<p>現在、松原町のお試し移住用住宅については、2部屋(2戸)を用意していますが、戸数が少ないという点に関しては、もう1部屋を追加して、お試し移住用に整備するということを検討しているところです。(地方創生推進課)</p>
<p>ワクリエ新居浜は指定管理者制度を採用しているとのことだが、市の自主運営という形は取れなかったのか。 また、今回の会議資料の中に、施設運営上の収支等を示す資料がなかったが、あった方が良かったと思う。</p>	<p>ワクリエ新居浜は指定管理者制度を導入していますが、指定管理者制度には、指定管理者が貸館の管理を行い、収受した使用料は市の収入とする制度(使用料制)と、施設の使用料や指定管理者の自主事業により得た収益を、指定管理者の収入とすることができる、しかし市に支払う指定管理料より収益が下回った場合は、指定管理者側が負担するという制度(利用料金制)とがあり、ワクリエ新居浜は「利用料金制」を全館採用しています。これまで、市の施設ではあかがねミュージアムやマイントピア別子のように、一部利用料金制を採用しているところはありませんでしたが、施設全体を利用料金制としているのは、このワクリエ新居浜が初めてです。 利用料金制を導入した経緯としては、通常の「使用料制」は利用者の増減が指定管理者の収益に直結する訳ではないので、指定管理者のモチベーションに繋がりにくい側面があるのに対し、「利用料金制」では指定管理者自身が様々な事業やイベント等を企画して、集客への経営努力をすることで収益を増やすことができるため、施設の活性化に繋がりがやすいというメリットがあります。また、本施設の整備にあたって、整備費の約50%が国の補助金によって賄われていますが、そのような補助金を受けるシステムの中でも、施設運営の自立性という点は非常に高い評価ポイントとなっており、今後、公共施設の立地の適正化を再検討する中でも重要となってくるもの</p>

	<p>と認識しております。</p> <p>なお、運営上の収支についての検証につきましては、今年度6月にオープンしたばかりの施設であり、やはり収支の状況というのは年間を通して見ないとわからないこともありますので、今後、年度単位で示されていた運営計画とも見比べながら、収支等の状況については十分に検証させていただき予定としております。</p> <p>(地方創生推進課)</p>
<p>指定管理者制度（利用料金制）を採用しているとは言え、市の公共施設という点では、公民館等の施設と変わらないと思う。公民館が無料で利用できる中、有料というのは利用者にとってハードルが高く、施設の利用普及に繋がらないのではないかな。</p> <p>また、大規模なイベントを行うことを考慮した場合、駐車場の収容台数60台というのは少ないように思う。さらに食堂では、食事を屋外または昔の調理室を改装したキッチンスタジオでしか食べられない等、努力は認めるが今一つ利用者にとって、「足を運びやすい施設」となっていないように思うので、今後の改善をお願いしたい。</p>	<p>確かに、公民館等の既存公共施設については、無料の施設も多くありますが、そういった無料の施設では設備的に実施できないような活動や取組を行う場合に、ワクリエ新居浜を利用させていただく等、使い分けをしていただければ良いのではないかと考えています。公共施設と言えど受益者負担の原則というものを考慮した場合、全てが無料という料金設定は難しいところです。ご指摘のとおり、有料設備ばかりでは中々利用に繋がらないという側面はありますが、ワクリエ新居浜の中にもコミュニティサロンや飲食施設、地域活動支援室、キッズスタジオ（貸切は有料）など、無料で自由に過ごしていただける場所もあります。</p> <p>また飲食施設についても、もちろん色々なご意見があると思いますが、当初見込みを上回る人数の方に利用をいただいております。ただ全体的に見て、いつも人で賑わっているという状況ではないのは確かですが、コロナ禍の影響を考慮に入れると、現状の当初見込みを上回る利用率という状況は、今後にも十分期待できる状況と言っているのではないかと思います。</p> <p>最後に、駐車場についてですが、敷地内には駐車台数62台分の駐車スペースを整備しています。イベントの内容にもよりますが、グラウンドを使用しないイベントの際は、グラウンドを駐車場とすることもできますし、グラウンドでイベントを行う場合には、イオンモールさんの駐車場をお借りする等の協力・連携体制も構築していますので、イベントの規模に応じた対応は可能と考えております。</p> <p>(地方創生推進課)</p>

(参加者アンケート)

市政モニター会議に参加いただいたモニターの皆さんに、感想やご意見をうかがい、今後の参考とするためにアンケートを実施しました。

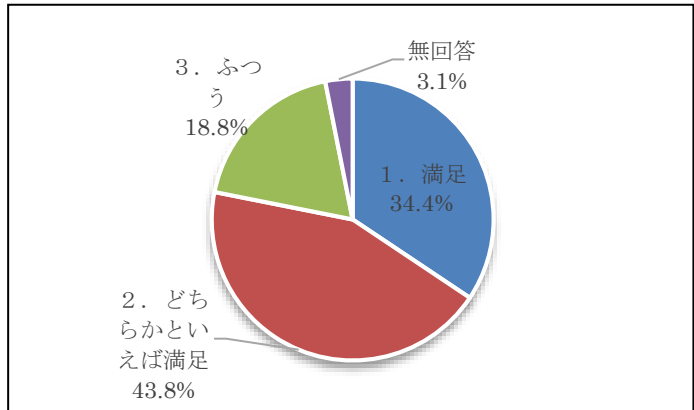
<アンケート概要>

調査対象者	第1回・第2回市政モニター会議参加者 35人
調査期間	会議実施日～令和3年11月26日(金)
調査方法	会議実施時にアンケート用紙を配布し、後日郵送で提出
回収数(率)	32人(91.4%)

〈調査結果〉

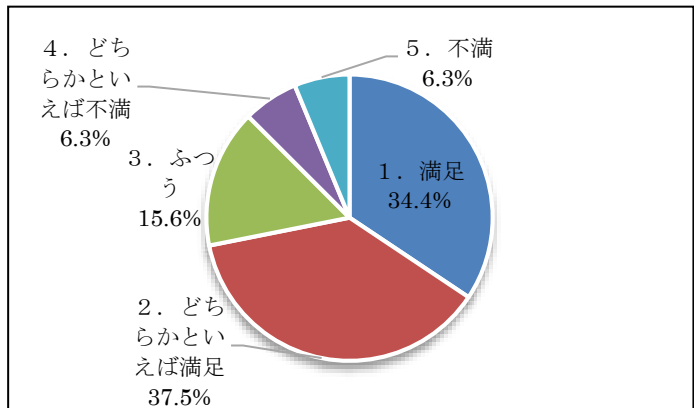
Q 1. 今回の施設見学テーマや見学先の設定についてどう思いましたか。5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	11 人
2. どちらかといえば満足	14 人
3. ふつう	6 人
4. どちらかといえば不満	0 人
5. 不満	0 人
無回答	1 人
合計	32 人



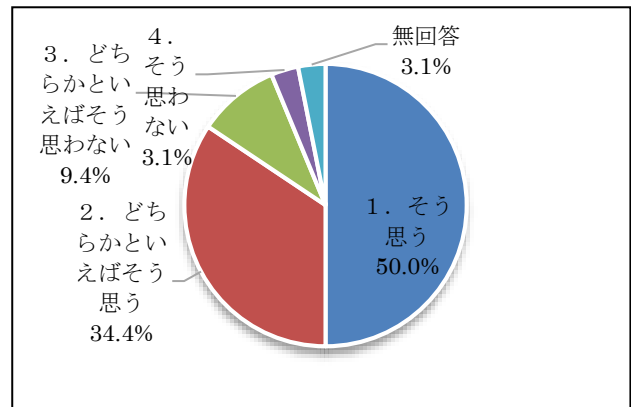
Q 2. 今回の施設見学の内容や職員からの説明はいかがでしたか。5段階の満足度でお答えください。(1つ選択)

1. 満足	11 人
2. どちらかといえば満足	12 人
3. ふつう	5 人
4. どちらかといえば不満	2 人
5. 不満	2 人
合計	32 人



Q 3. 今回の施設見学に参加して、市の取り組みに対する理解や関心が高くなったと思いますか。(1つ選択)

1. そう思う	16 人
2. どちらかといえばそう思う	11 人
3. どちらかといえばそう思わない	3 人
4. そう思わない	1 人
無回答	1 人
合計	32 人



Q 4. 今回の施設見学会に参加しての感想やご意見を自由に記入してください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

【ワクリエ新居浜について】

- ・学校跡を立派に改装して、良い施設ができたと思います。利用方法として、SDGsや地球環境について、市民が参加して学習できるスペースがあると良いと思います。
- ・すごく素敵な施設で、ゆったりとした空間が魅力だと思います。しかし、閑散としている印象を受けました。人がいない、活気がない。ここに来てもすることがないので立ち寄らないですね。場所はイオンにも近く、人が集まっている地域なのに。何かイベントをすれば、それに参加する人は来ると思いますが、何も開催されていなくても、人の集まる場所になっていくといいな、と思います。
- ・施設について、自分だったらどんな時に利用するだろうと考えた時「時にないなあ」と思い、残念でした。若宮食堂はたまに来るかな？という感じです。施設についてのアピール不足を感じますし、イベント等の告知についても、情報発信が少ないので増やしては、と思いました。
- ・生涯学習センター的な役割を担う拠点というイメージだったが、違って、少々がっかりしました。南向きの場所に飲食店を位置付けた方が、オールシーズン利用者が望めるのでは。南にある階段の利用がどれほどあるのか、疑問。とは言え、これからどんどん人が集う場となり得るよう期待します。
- ・この先こういった箱物施設が、長く価値ある場所として有効に使えるかが問題です。人口激減の中で、市の設備の中でも重複している施設も多くあるのでは？広い運動場は何に使うの？体育館は？リユースは大切だけど、何でも手を出し過ぎで、かえって特徴のない建物になっているように感じました。
- ・図書室の本の質と量が寂しい。移動図書館に来てもらい、長時間いてもらって本を読めるようにすれば、木音に来た子どもたちや市民も立ち寄る目的ができるのでは。利用者を増やす工夫が必要と感じます。
- ・残すところと最新設備との兼ね合いが良いと思った。若宮小出身の方は懐かしくて喜びそう。Wi-Fiも完備されているようで、もっと中高生や社会人の自習の場としてアピールしてもらいたい。講習会や会議にも、白い壁のスライドは見やすく良かった。椅子、机は新しく今風で、清潔。残念なのはグラウンドで、雨の時の水はけの悪さがあまりにもひどい。一部をクレイグラウンドにして、雨上がりでもすぐ使えるようにすれば、開放しやすそう。校舎内の階段は元小学校のため低めで、高齢者にも良さそう。内部の案内は、若干わかりづらいかも。
- ・もう少しワクリエ新居浜をアピールして、利用者が増えるとよいと思うので、市政だよりや他の方法で市民に知ってもらうように努力してほしい。
- ・ワクリエ全体を見学でき、今後の展望も知ることができて良かった。少しでも多くの人に周知してもらって、多勢が集える場所になるよう広報が大事だと思う。
- ・市域の西端にあるので、利用しにくいという問題がある。市民にもっとわかりやすくPRして、知っていただくことが先決でしょう。
- ・川東・上部地区にも同様の施設を建設してほしい。
- ・利用者の少なさが気にかかりました。利用状況はどうなのでしょう。利用者の意見を今後の運営に生かしてください。上部地区の市民にとっては、遠いので身近な施設に感じません。同様の施設を上部、川東地区にもほしいものです。施設利用者に、無料のバスチケットを配布するのはどうでしょうか。
- ・限られた企業や人の利用に片寄っているのもっと全地域の住民や子どもたちが利用できる施設になっていけば良いですね。当初、閉校後の利用方法として、広瀬にある生きがい創造学園を持ってくる計画もありましたが、なぜ没になったのでしょうか。
- ・廃校を再利用しての建設は大変良いことだと思うが、使用料金については試行錯誤して良い方向に持っていければ、マイントピア別子4階(キッズパーク、天空の湯)のようにうまくいくようになると思う。
- ・素晴らしい「ワクリエ」を見学させていただきました。しばらくは試行錯誤だと思いますが、未来に向けて、新居浜に希望が湧いてきました。

- ・ワクリエ新居浜は限られた企業や人のみの利用に片寄っているのもっと全地域の住民や子どもたちが利用できる施設になっていけば良いですね。当初は、閉校後の利用方法として、高齢者生きがい創造学園を持って来る計画もありましたが、なぜ没になったのでしょうか。
- ・ワクリエ新居浜、その名称・趣旨ともにユニークな発想です。期待されて開設したはずですが、コロナ禍の最中で主要関連先、市民への具体的なPRもままならず、大変ご苦勞様でした。本格的な期待はコロナ収束後でしょうが、決して公民館の延長やグレードアップではありません。要は場（ハード）を与えての人造りでしょう。ソフトの具体化は大変でしょうが、よろしくお願いします。

【新居浜市の移住施策、RCC新居浜アクションプランについて】

- ・移住のことばかりでしたが、「若者が出ないまち」であることも必要だと思う。大学、専門学校、私立中高校の勧誘等をしてほしい。少子化で学校運営も厳しいとは思いますが、やはり別子中学校のような特化した学校があれば若者が増えて市も活性化すると思う。
- ・移住に関するPR動画は、グルメ主体になっているように感じたので、観光名所や住友・中小企業が取り組んでいるSDGs活動なども入れた方がよいと思う。
- ・PR動画については、「ここがいいですよ」との言葉でのアピールではなく、こちら側がいいと思う所の情報を発信して、見ている側に判断してもらいたいものがありました。
- ・VTRは地元民も気付いていない新居浜の良さが表れていたと思う。大病院が4つある、そう言えばすごいのかも、と思った。1つ1つの見所は雰囲気も良いが、周辺の雰囲気がそぐわないまちだと正直思う。黒島も東平も市内からかなり距離があるが、立地のバランスがあつたVTRではわからない。「田舎暮らし」に憧れる人も、自然の多さは求めているも「不便」には慣れていない。コミュニティバスのような、自家用車に頼らない交通手段を増やさないとまずいと思う。子どもも親の送迎に頼らず移動でき、高齢者も車に乗らずに買い物、病院に行ける、そういったまちを望む。
- ・PR動画は「子育てを終えた方の第2の人生のための移住」のように見えた。若い世代をターゲットにするなら、もう少し日常的な利便性、例えばスーパーが近くにこんなにある、駐車場はどこも無料だ等を伝えた方がよいのではと思う。
- ・高知県の日曜市や香川県の仁尾海岸に近くて便利というようなPR動画を作っても、それで本当に新居浜に移住してみようと思うかどうか疑問だし、移住した人の受け皿を充実させないと、すぐに他市に転出してしまい、人口増加への根本的な解決になるとは思えない。
- ・質疑で言われていたように、移住者に来てもらおうとするならば、環境を整えなければと思いました。
- ・実際、子育てに関しては大変不満がある。まず、小児科が少なすぎる。児童館も4つ、中高生の居場所もない。学校も学力が下がっている。別子中学校などの学力向上の取組も、まだ追いついていない。行きたい高校がなく、大学生もいない。高校を改革できないか。中高一貫校で学力を上げたり、大学の誘致等できないものか。他にも、市営住宅についてはガラスが割れ、畳もカビだらけの部屋もある。他からの移住もだが、現在居住している市民が不満を持っている所を勧めてよいものかとも思う。
- ・RCC新居浜アクションプランの「しごと（Career）」の中で、「シニア世代の新しい働き方・生きがいのある暮らしの提案」とありますが、具体的にはどんなことを始めていますか。

【その他、会議の運営・進行などについて】

- ・今回初めて施設見学会に参加させていただき、普段体験することのない施設の詳しい利用法、現状などを学ぶ貴重な機会となりました。
- ・実際に施設を利用する機会はあまりないと考えますが、唯一、若宮食堂へは家族で出向くことができるので、子どもや孫たちにしっかり宣伝しておきたいと思います。施設が身近に感じるようになりました。
- ・ワクリエ新居浜には行く機会がなかったので、見学会に参加できて良かった。当日はあまり利用者がいなかったのも、普段の雰囲気がわからなかった。見て回っただけだったので、もう少し何か体験することがあれば、なお良かったかな、と思う。
- ・前半の説明が長かったので、20～30分位の方が良かったと思う。見学というより講義がメインだった。

- ・前半の説明は、モニター画面に資料を映して説明した方が、目線で追えて良かったと思います。
- ・説明はわかりやすかったですが、もう少し具体的施策の説明や議論の時間があっても良かったかな、と思います。エネルギー、脱炭素、環境についての施設（施策）説明もあっても良いかと思いました。
- ・各説明に今一步、説得力が感じられなかった。目標について、もっと広報力をつけ、スピーディ感を持って実行してほしい。
- ・職員の説明がわからない。資料がわかりにくい。プロジェクターで問題点と改善方法を強調すべき。
- ・予算資料の不足等、ワクリエの見学は時期尚早ではなかったか。運営等が不透明すぎる。
- ・担当者が一生懸命にやろうとしていることは伝わるが、市政モニターのこと等知らないことが多いのでは。伝えることは大変です、百倍知っていないと伝えられない？
- ・後方の席だと声が聞き取りづらい。マイク等を使用していただきたい。
- ・コロナ禍の中、行事の延期が続いていて、実施できたことを嬉しく思います。子どもたちも大きく環境が変わり精神的にも不安定な中、卒業式や入学式、運動会や旅行などができなかった場合、どのようにして思い出を残すのでしょうか。私たちはまた再度の機会もありますが。心を痛めています。
- ・人口減少や少子高齢化がますます進むと思われる。それに伴う地域産業の担い手の不足、税収の減少、学校の存続、空室の増加、社会保障経費の増加等、様々な課題が深刻化すると思われる。今後の傾向や様々な課題について、若い人に知ってもらう必要がある。市政モニターも若い人になってもらい、意見を聞く必要を感じた。今回の参加者も高齢の方が多いと思った。

Q 5. 来年度以降の施設見学会で、設定したら良いと思うテーマや見学先があれば記入してください。（自由記入）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・あかがねミュージアム（3）、東平、山田社宅
- ・清掃センター（ごみ処理施設）、下水処理場（2）など
- ・ゆらぎの森、マリンパーク新居浜
- ・消防本部
- ・リボーンした滝の宮公園
- ・別子鉱山鉄道旧跡地を巡る旅
- ・別子山の学校や地域おこし協力隊の実情が見たい。
- ・別子山中学校の参観や研究発表等に参加してみたい。
- ・幼稚園や保育園など
- ・市役所とかどうでしょう。
- ・新居浜市役所各課の課題や取り組み、市民サービス等
- ・各課が取り組んでいる課題や進捗状況、住民の理解協力など
- ・10年後、庁内がどう変わっているか（変わろうとしているか）について
- ・市議会がどんな仕事をしているのか、実状を見たい。
- ・黒島～大島へ、渡海船が出ていて便利なのに、大島が寂れていてもったいないと思う。サイクリング等復活して観光に生かせないだろうか。
- ・SDGsに取り組んでいる施設、団体（会社、組織）の見学を希望します。
- ・来年度の施設見学会も、今回と同じ場所を期待します。
- ・新居浜再発見のため、いろいろと教えてください。

～ご協力、ありがとうございました～